

令和6年度 富山県中学校体育連盟

ソフトテニス競技専門部規定

富山県中学校体育連盟
ソフトテニス競技専門部

1 ユニフォーム等について

- (1) 大会出場の際は、上は半袖ゲームシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。
 - (2) ゲームシャツ（襟なしも可）、パンツ・スカートについては、日本ソフトテニス連盟公認メーカーのものを使用し、ユニフォーム等着用基準を満たしているものとする。
※上記（1）、（2）の内容については、中学生らしいものを着用または使用すること。
 - (3) ユニフォームおよび鉢巻きには、特別な文言や記号を後から書き入れもしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、鉢巻きの端の部分に小さく「学校(チーム)名・氏名」を記入してもよい。帽子・サンバイザーもこれに準ずる。※ベンチ入りする監督・コーチも同様。
 - (4) **シャツの袖はまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。**
 - (5) アンダーウェアの着用を認める。その際には、色は白・黒・ベージュの単色とし、上下で着用する場合には同色のものとする。※形状（半袖・七分袖・長袖等）は問わない。
- (1)～(5)について、不安なデザイン等がある場合は前もって地区主任に相談すること。**

2 ベンチ入りについて

- (1) 団体戦では、選手4～8名及び監督1名（中学校チームの場合は当該校の教員・部活動指導員・外部指導者、地域スポーツ団体チームの場合は県中体連に届け出た大会参加者名簿【夏は様式4、秋は様式5】の中の指導者）でチームを編成し、選手・監督の他に、コーチ1名（中学校チームの場合は当該校の教員・部活動指導員・外部指導者、地域スポーツ団体チームの場合は県中体連に届け出た上記書類の中の指導者、かつ、(公財)日本スポーツ協会公認の「ソフトテニスコーチ1」以上の資格保有者であること。ただし、今年度は取得中の者でも可とする。)のベンチ入りができる。
- (2) 個人戦では、選手2名の他に、監督1名、コーチ1名のベンチ入りができる。
※北信越大会以上の上位大会ではソフトテニス競技の場合、ベンチ入りは監督・コーチのいずれか1名となり、個人戦においては追加登録が可能となる。また、部活動指導員は、監督としてのみ登録が可能で、コーチとして申し込みをすることはできない。

3 外部指導者（コーチ）のベンチ入りについて

- (1) 中学校チームは、県中体連から通知される外部指導者の承認要件を満たし、手続きを完了させた者のベンチ入りを認める。地域スポーツ団体チームは、県中体連に届け出た上記書類の中の指導者（(公財)日本スポーツ協会公認の「ソフトテニスコーチ1」以上の資格保有者であること。ただし、今年度は取得中の者でも可とする。）ただし、大会中に教育的配慮に欠ける不当行為があった場合は、退場していただくことがある。
- (2) 県選手権大会・県選抜大会では、原則として監督会議に参加する。その折に、外部コーチ章を配布する。コーチ章のない者はコーチとして認めない。

4 質問及び提訴について

- (1) 団体戦においては、ゲームを行っている選手及び監督が質問や提訴を行う。
- (2) 個人戦においては、選手及び監督が質問や提訴を行う。
- (3) 異議の申し立ては認めない。

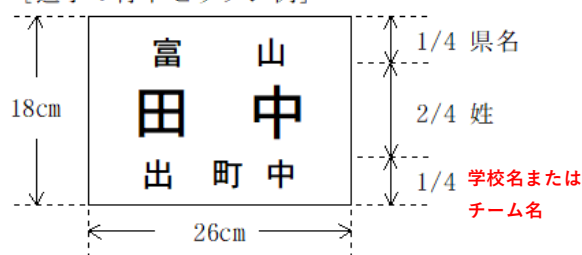
5 監督・コーチのベンチの移動について

- (1) 団体戦で2面同時進行となった場合、監督・コーチのベンチ移動を認める。ただし、監督会議での決定事項を優先する。
- (2) 個人戦において同一校のペアが同時にゲームを行っている場合、監督・コーチのベンチ移動を認める。ただし、監督会議での決定事項を優先する。

6 ゼッケンについて

- (1) 背中にゼッケンを着用する。大きさはB5判横（白地）とし、県名・学校名・姓を黒文字で表記する。県名の「県」はつけない。学校名には「中」を記載する。※義務教育学校は「義務教校」等、学校名が分かるようにする。また、おおむね上部1/4に県名、下部1/4に学校名、県名と学校名の間に姓を書くものとする。ウエアそのものへのプリントは認めない。必ず別の布で作成し、つける（ホック・安全ピン等の使用は可とするが華美にならないこと）。

[選手の背中ゼッケン例]



- (2) 同一校に同姓の選手がいる場合には、名前の一部も付け加える。（岡田真 など）
(3) 中学校名をわかりやすくするために学校所在地を学校名に付記してもよい。（氷見北部中など）
(4) 地域スポーツ団体のチームはチーム名を記載すること。（D-club、打つ虫など）
(5) 拠点校部活動として参加するチームは拠点校の学校名を記載すること。

7 監督、コーチの服装について

- (1) 監督・コーチのベンチ入りの際は、スポーツウエア（長袖・長ズボン可、襟付きでなくてもよい）・テニスシューズを着用する。

8 県大会・北信越大会出場数について

- (1) 県選手権大会 団体戦…各地区男女各4チーム 個人戦…各地区男女各8組
(2) 北信越大会 団体戦…男女各3チーム 個人戦…男女各6組

9 大会シード及び組み合わせ

- (1) 各地区大会
① 団体戦においては、出場校の順位が明確になるよう、原則として3位決定戦を実施する。
② 個人戦においては、3位決定戦・5位決定戦は実施しない。県選手権大会の組合せ編成における同順位組の取り扱いについては専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
- (2) 県選手権大会
① 団体戦のシードは、前年度の県選抜大会優勝校の地区を第1シードとする。その他の組合せは専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
② 個人戦のシード・組合せは専門部に一任し、地区主任の抽選とする。
③ 北信越大会個人戦出場組による順位決定戦の組合せは、出場選手による抽選とする。ただし、同一校の選手が二組出場する場合、初戦での対戦を避けるよう配慮する。
- (3) 地区新人大会
各地区大会の団体戦及び個人戦に準ずる。

10 その他

- (1) 応援については、声やリズムをそろえて行う集団応援は団体戦のみとし、個人戦では認めない。また、プレーをスムーズに進行させるため、過度（審判のコールやプレーに支障が出る）にならないようにする。
- (2) **ルールブック第23条（マッチの進行）に従い、サービスラインに整列した後、正審の「集合」によって双方がネットまで進み挨拶をすることにする。**
- (3) 各地区大会においても専門部規定を準用する。
(4) 別紙「ソフトテニスに取り組むみなさんへーフェアプレー・マナーとはー」を参照し、大会に出場する選手への事前指導を徹底する。
(5) 本規定に違反している場合は、警告を与えたり、失格としたりする場合がある。
(6) 県選手権大会でベンチ入りする監督（・コーチ）は、2級審判員の資格を有することとする。
(7) その他の必要事項については、監督会議での決定事項を優先する。
(8) 大会使用球について、令和6年度全中大会までは**団体がアカエムボール、男子個人がダンロップボール、女子個人がケンコーボール**とする。※全中大会終了後に新人大会について周知する。